

# いのちのちの重さを考える6

教派神道連合会主催 ◆ 公開講演会

私たち教派神道連合会は、「祈りの道」を歩む者として、人が生まれること、死ぬこととはどういうことなのか、常に「いのち」について考えています。

脳死・臓器移植や生命倫理問題、さらには東日本大震災・災害被災者へ祈り・よりそう心についても、専門家と宗教者との対話を通して、数々の問いかけを行ってまいりました。

脳死・臓器移植法は改正されて4年余り、その後の経過や問題点についてあまり検証されていない中、尊厳死、安楽死がとりざたされる今日です。

このたび第6回目の公開講演会として、臨床心理学の専門的な立場からのお話を伺い、私たち宗教者が考える「いのちの重さ」を深める機会になればと思い、下記のとおりご案内申し上げます。皆さまには何とぞこの趣旨にご賛同の上、公開講演会にご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

◇ 公開講演 ◇

## いのちに向き合う構えと 体験の変容

◇ 講師 ◇

やま なか ひろし  
**山 中 寛**

1954年福岡県生まれ

鹿児島大学大学院教授、臨床心理学者・臨床心理士

専門は臨床心理学、スポーツ心理学、ストレスマネジメント教育  
JOC スポーツカウンセラーとしてシドニー五輪野球チームに帯同。  
2009年からは当事者としてがん体験について研究している。

**日時** 平成26年12月11日[木]

15:00～17:00 (開場 14:30)

**会場** 神道大教 大教院

港区西麻布 4-9-2 (☎ 03-3407-0524)

■東京メトロ 日比谷線広尾駅 3番出口 徒歩約 7分

■東京メトロ 日比谷線六本木駅 1番出口 徒歩約 15分

■都営バス 学03路線日赤医療センター下車 徒歩約 20分

**参加費** 無料・参加自由

**主催** 教派神道連合会

**企画** 教派神道連合会青年会議

**連絡先** 大本東京本部 (☎ 03-3821-3701)

※教派神道連合会：明治28年、神道教派によって結成されて以降、相互の親密なる提携により、神道教化の活発な展開を図り、道義に基づく文化日本の建設に寄与し、世界平和の確立に貢献することを目的に掲げる連合体。